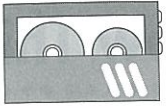



カセットテープ 全1巻 定価 (本体価格2,913円+税)	CD 全1枚 定価 (本体価格2,913円+税)
	
お近くの書店でご注文いただくか、郵便振替 (00140-2-46008)でお申し込みください。	

Do You Know This?

— Short Readings and Basic Grammar for Cultural Literacy —

Copyright © 2005 by Asahi shuppan-sha

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced in any form without prior written permission from the author and the publisher.

Printed in Japan.

The author and publisher are grateful to the following for permission to reproduce quoted passages: Reader's Digest UK for Lessons 2, 3, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 13 and Further Readings 2, 3, 5, 6, 7, 9, 11, from *facts of life*; Cool Quiz Network, Inc. for Further Reading 10; Houghton Mifflin Company for Lesson 8 and Further Reading 8 from *The New Dictionary of Cultural Literacy*; Chuck Morelad for Lesson 14 and Further Reading 14 from *Origin of Phrases*; A PRIMEDIA COMPANY for Lesson 1; Takanori Hidaka for Lesson 1 from *on line 中学英語がゼロからよくわかる本*; David White for Further Reading 1 from *Social Studies for Kids*; Dominoes IQ Test for Lesson 3; The GREAT IDEA FINDER for Lesson 4; WIKIPEDIA for Further Reading 4; John Russell for Lesson 12 from the *BRITISH COUNCIL*; British Car Rental for Lesson 13 from *british car rental*; DRIVING IN BRITAIN for Further Reading 13.

Published by Asahi Shuppan-sha

3-3-5 Nishi Kanda, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0065 Japan

Phone (03)-3239-0271 / Fax (03)-5213-9283

E-mail: text-e@asahipress.com

URL: <http://www.asahipress.com/text>

はしがき

「トリビアの泉」というテレビ番組は視聴率が高い。「事実は小説よりも奇なり」とも言われる。これまで疑問にすら思わなかったことに潜む謎を知った時の喜びは大人になっても忘れられないものだ。しかし、「なぜ海の水は塩からいの？」という子どもの素朴な質問に、一体どれくらいの親たちが正しく答えられるだろうか。

子どもが素朴にいただく「なぜ？」という質問にどう答えていけばいいのか。そうした日常的な質問に答えるには、Cultural Literacy、つまり、「常識」が必要になってくる。Cultureを、日本語では「文化」と訳しているが、人間が創り出したものがcultureなのであり、人間の手が加わっていないものはnatureである。日本人は黒髪であれば持って生まれた(in nature)「自然」の状態であり、茶髪にしていればこれは文化的現象と言える。すっぴんは「自然」であり、化粧は「文化」である。言葉は「文化」であり、農業も芸術も科学も家そのものもまちづくりも「文化」である。Cultural Literacyを定義するとすれば、人間が創り出したものを理解する能力だと、言えるだろう。アメリカ本土が初めて攻撃を受けた9.11以降、文明の衝突が声高く叫ばれている。しかし、これも人間だけが作り出している「戦争」なのであり、動物世界にはない「宗教」の対立がそこには見られる。人間が創り出した「文化」はすばらしい。しかし、その「文化」が海や山や川という「自然」を破壊し、人間が創り出した機関銃や大砲やミサイルが人間の肉体をばらばらに引き裂いていく。

肉体の至る所に、舌やおへそにまでピアスの穴を開け、肉体に刺青を彫る若者の肉体いじめ(金原ひとみ、『蛇にピアス』)はなぜ起きているのだろうか。これも人間の「文化」であることは間違いない。だが、人間最大の肉体いじめは、「人殺し」であり、「戦争」だろう。なぜ、「人殺し」や「戦争」が起きるのか。「ゆとりの時間」で学んできた学生諸君なので、この人間と文化にかかわる「なぜ？」という問いに自分の答を見つけ出すことができるのではないだろうか。

最近の初等・中等教育における「ゆとりの時間」は、この「なぜ？」という子どもの質問を引き出すための教育であった。ところが一方で、最近では高校の必修科目において、国語が12単位から2単位へ、数学9単位が2単位へ、理科12単位が5単位へと減らされ、基礎知識を学ぶ時間が減ってきていると言えるだろう。外国語でも必修が9単位から2単位に減らされ、発音記号や筆記体で英語を書くことなどは全く習ってい

ないのが現状である。そうした、基本的なことや歴史や科学の常識を学んでいない大学生に、「ああ、そうだったのか」という知ることの喜びを教えたい、と同時に、そうした知る喜びを通して、短期間で英語が読めるようになるリーディングのテキストが作れないかと今回若い教師たちと一緒に模索した。

次に本書の構成について述べておきたい。まず、**Basic Reading**として、さまざまな「なぜ？」の問いに対する答を読むことにした。**Cultural Literacy**とは「文化能力」「文化的基礎知識」「文化的常識」とでも訳せるだろうか。当然初等・中等教育で学んでおくべき基礎知識なのだが、英語を母語として育っていないわれわれ日本人にとって案外なじみがなく、説明できないイギリスの文化的常識は多い。**Basic Reading**の英文はごく短いものなので、まず黙読で読み通してもらいたい。意味が分かったところで次に必ず音読して読んでほしい。むずかしい単語は日本語で示した。病名やウイルスの名前などイギリス人でも知らない単語が出ている。しかし、日本語は江戸時代から「盲腸」や「十二指腸」をオランダ語からの翻訳語として創り出している。「外科」や「内科」や「耳鼻咽喉科」など英語ですらすらいえる人は少ないが、日本語はすぐイメージできるので高校生であれば知っている単語といえる。アジアの国の中で、医学部の講義を英語を使わずすべて母語でできる国は少ない。英語を日本語に置き換えることも重要である。**Notes**と**Build Up Your Vocabulary**を大いに活用してほしい。もちろん、むずかしい固有名詞などは、英和辞典でその訳語を見ればいいが、基本的単語であっても意味が多義にわたる重要多義語（翻訳難解語）については、ぜひ英英辞典での説明を読んでその単語の「核」になっているニュアンスをつかんでほしい。いわゆる、**thinking in English**は、英英辞典を引くことで身につくし、英語を聴き、話す時、役に立ってくる。すでに知っている**Basic English**としてのgoやcome、eastやSundayなどを英英辞典で引いてみよう。

Check Your Understandingの設問を読んで、何が書かれているのかをまず想像してほしい。人間は、「予測」なしに、言語を理解することはむずかしい。英文自体は短い、内容は決してやさしいわけではない。1つの理由は見慣れない英単語が多く使われているからだ。そこで、**Check Your Understanding**の設問はあえて日本語にしている。最近重視されているTOEICの試験で高得点をとるには、**Reading**部門で、まず問題文を読んで、何が問われているのかを確認してから英文を**scanning**していかないと、とても最後まで解答することはできない。分からない

単語があっても、何が書かれているのかを60パーセント把握する読み方をマスターしてほしい。イギリス英語で書かれていることもあり、スペルが見慣れないと感じる学生も多いかもしれないが、60パーセントの内容を把握したあとで、これまでの人生で学んできた知識、常識をフルに活用して、**Check Your Understanding**の質問にチャレンジしてほしい。

超難解といわれる国家公務員の上級試験も、NHKの入社試験の英語も基本がしっかり分かっていて、文化的基礎知識があれば、十分読みとれることも学んでもらいたい。英検2級の文法知識を身につけて、あとは新聞を毎日読み、単語力をつけていく努力をすれば、大学卒業時に、そう苦しむことなく入社試験もパスできる。余裕のある学生は、**Further Reading**や、入社試験などにも挑戦してほしい。

最後に、このテキスト作成にあたって、多くの人の協力を得たことを記しておきたい。まず、インターネットで英文を引き出してくれたのは、龍谷大学などで非常勤講師をしている川田伸道さんと、コンピュータの便利さを年をとっている編著者の2人に教えてくれた。他に、大阪市立大学などで非常勤講師をしている福田圭三さん、大阪産業大学などで非常勤講師をしている霜鳥慶邦さん、さらに関西看護専門学校などで非常勤講師をしている山本智弘さん、京都女子大学で非常勤講師をしている中田智子さんに執筆協力していただいた。また、英文法解説に用いられる用語の統一など、テキスト全体のチェックを現在テンプレ大学 JAPAN の博士課程で研究を続けている小川享子さんに、英文校閲は Glenn T. Gainer さんをお願いした。

こうした若い英語教師のエネルギーを借りて、毎時間楽しく授業ができるための英語のテキストを作ってみたつもりである。このテキストを通じて英語への興味が深まることを切に願っている。

また、本書の編集と出版にあたり、朝日出版社編集部の阿見知枝さんに大変お世話になった。この場を借りて、感謝の意を表したい。

2004年10月
京都にて
杉山 泰

目次

Lesson 1. ALPHABET _____ 2

(本文) How did the Romans develop the alphabet?

「何気なく書いていませんか? アルファベットにも歴史はあります」

(文法) ① 基本の形 (名詞-動詞-名詞の語順と第3文型) ② 語順が大事

(文化) ① 生きている言語 ② 表意文字と表音文字 ③ 筆記体を書いてみよう!

Lesson 2. ANIMALS _____ 8

(本文) Why do elephants have big ears? 「大きな耳の秘密」

(文法) ① 主語と述語の省略 ② have no problems ...ing / have good reason to ... など

(文化) 名詞と動詞

Lesson 3. EDUCATION _____ 12

(本文) How are IQs measured, and what is the average?

「あなたのIQはどれくらい?」

(文法) 比較 (the 比較級~, the 比較級...)

(文化) “IQ”と“EQ”

Lesson 4. FASHION _____ 16

(本文) What's the origin of jeans? 「ジーンズ=テント?」

(文法) ① 過去形と過去完了の意味 ② 動名詞を目的語としてとる動詞 ③ 動詞+er

(文化) なぜGパンか?

Lesson 5. RELIGION _____ 21

(本文) Why do the Chinese name each year after an animal?

「干支はなぜ動物?」

(文法) ① 不定詞 ② have it that ...の構文

(文化) ① 北南東西という英語の語順とキトラ古墳の東西南北の色 ② 「豚」と「豚肉」

Lesson 6. FOOD _____ 25

(本文) Why should red wine but not white be allowed to breathe?

「赤ワインと白ワインの飲み方の違い」

(文法) 受動態の作り方

(文化) ① fragrance ② trust ③ decanter

Lesson 7. HEALTH _____ 29

(本文) If skin constantly renews itself, why are tattoos permanent?

「刺青は一生消えない?」

(文法) ① 関係代名詞-限定用法と非限定用法 ② 受動態構文

(文化) イギリスの医療事情と医療英語

Lesson 8. PROVERBS _____ 34

(本文) Why have proverbs survived? 「ことわざは日常から生まれる」

(文法) 仮定法

(文化) 日英ことわざ表現比較

Lesson 9. SCIENCE _____ 39

(本文) How is the pollen count measured, and why is it so high some years?

「花粉を数えるのは大変!」

(文法) ① 受動態 (受け身にできる場合、できない場合) ② 完了形

(文化) 「かたまり」の表現

Lesson 10. SPORTS _____ 44

(本文) Is it really necessary to destroy horses when they break their legs?

「骨折した競走馬の運命は?」

(文法) ① 主語のitの特別用法 ② It is + 形容詞 + for (of) A + to... 構文

(文化) 否定について (There is no ... without... の構文)

Lesson 11. LAUGHTER _____ 48

(本文) Why were women making a long queue? 「とんだ勘違いの話」

(文法) 進行形

(文化) ① queuingとイギリス文化 ② マザーグースにみるナンセンスな唄

Lesson 12. GARDENING _____ 52

(本文) Are gardens a recent invention? 「庭とその起源」

(文法) ① 形容詞-叙述用法と限定用法 ② 形容詞-形容詞の働きをする語句

(文化) バビロンの空中庭園

Lesson 13. HISTORY _____ 56

(本文) Why do we drive on the left? 「右を通るか左を通るか」

(文法) 分詞構文

(文化) 交通事情

Lesson 14. PHRASE _____ 61

(本文) What is the origin of the term “hat trick”? 「ハットトリックと“3”」

(文法) ① 品詞 ② 受動態 (by の有無) ③ wear の訳し方

(文化) ① 和製英語とスポーツ用語 ② スポーツとイギリス

FURTHER READING _____ 65

1 How did we get the alphabet? 「アルファベットは誰が発明したのか?」

2 What is the fastest living creature? 「動物の世界のスピード比べ」

3 We talk of First and Third World countries. What or where is the Second World?
「世界の構成の仕組み」

4 Do you know the history of Burberry? 「トレンチコートの真実」

5 Are nuns allowed to smoke? 「修道女とタバコ」

6 Is it true that rice is poisonous if reheated? 「冷やご飯を暖めたら危険?」

7 Why does time seem to pass more quickly the older you get?
「子どもころは月日が経つのは遅かったのに…」

8 Proverb and language?
「ことわざは万国共通で…でも」

9 How do scientists measure very high temperatures?
「不可能を可能にする科学者の知恵」

10 How do they measure ball speeds at sporting events? 「ボールのスピード」

11 Is there any evidence that Jesus had that most important of human characteristics, a sense of humour?
「イエス・キリストにユーモアのセンスがあったか?」

12 What plants did people grow? 「人類は最初に何を育てたか?」

13 It is a roundabout! — How to turn at an intersection. 「信号のない交差点!」

14 Do you know how to use a “cat”? 「猫の効用あれこれ」

Do You Know This?

Lesson 1

- ALPHABET -



Basic Reading

How did the Romans develop the alphabet?

* Roman alphabet for Latin

The Romans used just 23 letters to write Latin:

A B C D E F G H I K L M N O P Q R S T V X Y Z

There were no lowercase letters, and K, Y and Z were used only for writing words of Greek origin. The letters J, U and W were added to the alphabet at a later stage to write languages other than Latin. J is a variant of I, U is a variant of V, and W was introduced as a 'double-v' to make a distinction between the sounds we know as 'v' and 'w' which was unnecessary in Latin.

* Modern Latin alphabet

The modern Latin alphabet consists of 52 letters, including both upper and lower case, plus 10 numerals, punctuation marks and a variety of other symbols such as +, % and @. Many languages add a variety of accents to the basic letters, and a few also use extra letters and ligatures. The lowercase letters developed from cursive versions of the uppercase letters.

Uppercase letters
 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
 Lowercase letters
 a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z

Notes

Roman alphabet for Latin **the Romans** 「(古代) ローマ人」 **Latin** [lætin または læt(ə)n] 「ラテン語」: ローマ人たちが使用していた言葉。現在ではキリスト教のミサなどでしか使われていない。 **lower case letter** 「小文字」 **add** 「(to—に) ~を加える」 **languages other than Latin** 「ラテン語以外の言語」: 例えば中世イタリア語など **variant** [vɛəriənt] 「(同一語) の異なる綴り、異なる文字」 **the sounds we know as 'v' ... in Latin** 「私たちが v として知っている音とラテン語では必要でなかった w の音」

2 Do you know this?

何気なく書いていませんか?
アルファベットにも歴史はあります

Modern Latin alphabet consist of ... 「~から成る」 **uppercase (letter)** 「大文字」 **numeral** 「数字」 **punctuation mark** [pʌŋktʃu'eɪʃən má:k] 「句読点」 **such as...** 「例えば~のような」 **extra** 「余分の、追加の」 **ligature** [lɪgətʃə] 「合字」: æ, œ など。 **cursive** [kʻsɪv] 「筆記体の」

Check Your Understanding

① 古代ローマ人が K, Y, Z, を使う時はどんな場合ですか。

② W という字について、本文から分かることを簡単にまとめましょう。

③ 小文字はどのようにしてできたのですか。

Build Up Your Vocabulary

1. 次の(1) ~ (3) の単語の意味を表わしているのは、以下のa) ~ c) のどれですか。

(1) basic (2) language (3) letter

- () a) any of the signs in writing or printing that represent a speech sound
 () b) the system of human expression by means of words
 () c) more necessary than anything else; on which everything else rests, depends, or is built

2. 日本語の意味に合うよう () 内に適切な語を入れ文を完成させましょう。

① 電車は6両編成です。

This train () () six cars.

② 君は善悪の区別をちゃんとつけるべきだ。

You should () a clear () between good and evil.

③ 彼女はコーヒーに砂糖を入れた。

She () sugar () the coffee.

Grammatical Points

◆基本の形

英語は5つの文の型で書かれると言われます。いわゆる英語5文型です。もちろん5つの文型をマスターすることは大切なのですが、ここではその5つの中でも、80%近くを占めるとも言われるもっとも目にする文型について勉強します。その前に2つのことを覚えてください。名詞と動詞です。

名詞というのは「ものの名前」や「事柄」と考えてください。名詞には手に触れられるものだけでなく、触れられないものがあります。例えば、「夢」とか「希望」などです。しかしそれらもある現象に付された名前です。名詞とはその文字が表わす通り、名前の詞(ことば)なのです。

動詞というのは「動作、行為、状態」を表わす詞です。「走った」とか「～を食べる」など私たちがする行動や、「いる、ある」とか「立っている」などの状態を表わす詞です。時制の変化を受け過去形や完了形に変化します。また主語として置かれている名詞によって複数形を受ける動詞になったり、3人称単数現在を受けて、語尾にsを付けたりします。

◆語順が大事!

5つの文型の中でもっとも英語に出てくるものはSVOの文型、いわゆる第3文型です。「私、好きよ」「好きよ、私」を英語で言うと“I love you”となります。ここで意識してほしいのは語順です。日本語の場合は「主語」である「私」がどこに置かれても、意味は通じます。しかし英語の場合、動詞の左右の語を置き換えるとまったく異なった意味を表わしてしまいます。

日本語：語順が変わっても意味は通じる

「パンダは笹が好きです。」＝「笹が好きです、パンダは。」

英語：語順が変わると意味も変わる（意味をなさない）

The **giant panda** likes **bamboo grass**. ≠ **Bamboo grass** likes the **giant panda**.

“The giant panda likes bamboo grass.”と“Bamboo grass likes the giant panda.”はどちらも【名詞ー動詞ー名詞】という語順をとります。

しかし動詞を境にして、名詞が前にあるか後ろにあるかでは、表わす意味がまったく異なります。ですから、英語では語順はとても重要なのです。名詞と名詞とをつないでいるのが動詞なのですが、動詞の前にくるものが、その動詞の動作主(＝主語)になります。動詞の後にくる名詞は主語がする行為の目的となっているので、目的語と言います。



確認問題1

主語と目的語の相関関係に注意して□内の語・語句を主語、目的語にあてはめ、英文を作りましょう。(解答は複数あります。)

例



dark eyes / the cat / I

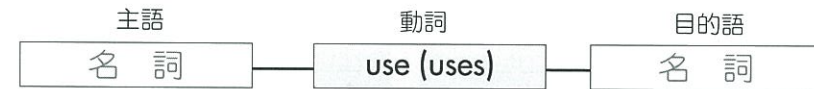
解答： I have dark eyes. / The cat has dark eyes. / I have the cat.

(1)



you / a magazine / my brother / a book

(2)



my dictionary / my teacher / his computer / John

(3)



food and water / this home / sunlight / these people

▶▶ Cultural Differences

1. 言葉は生き物

現在、全世界で使われている言語は5000あるとも、6000以上あるとも言われています。しかし英語や中国語、スペイン語など10あまりの言語の話者だけで、世界の人口の半分を占めているのです。さらに、90%から95%の言語が消滅する（つまり600から300の言語しか残らない）と断言する言語学者さえいるのです。

2. 表意文字と表音文字

アルファベット、漢字、平仮名、片仮名、はどちらに分類されるでしょうか。

文字 { 表意文字：意味を表わす文字：
表音文字：音を表わす文字：

3. 筆記体を書いてみましょう！



上図を手本にして、筆記体を書いてみましょう。

a~z まで筆記体で一筆で書いてみましょう。

◇発音記号について

digital [dɪdʒətəl] や sticker [stɪkə] をどう発音しているでしょうか。日本人は「デジタル」と発音し、「ステッカー」と発音しています。

発音記号の[i] は、日本人は「エ」と聞こえているのです。英語が日本に本格的に入って来た明治時代には、おじいさんが持っている “stick” を「ステッキ」と言っていましたし、また “economy” は [ɪkənəmi] と発音し、“ecology” は [ɪkælədʒi] と発音するのですが、それぞれ「エコノミー」や「エコロジー」と聞こえてしまうも同じ例としてあげられます。

このように、明治時代から日本人は英語を耳から聞いてそれをまねて発音してきたのです。現在は辞書を引けば発音記号で正しい発音ができるようになってい

ます。
1日で発音記号を覚えて、正しく発音するのは無理でしょうが、日本語にない発音 [æ], [ə:], [ʌ] といいた母音や [θ], [dʒ], [ð] といいた子音を1つずつ覚えていってください。日本語と違う音を自分で発音できるようになれば、実は、東京方言（標準語）以外の関西方言や鹿児島方言さらには名古屋方言などがすぐにまねられるようになるのです。ぜひ「発音記号」に注目してください。名古屋の人は「エビフライ」を [ebɪflaɪ] と発音しているのです。音に敏感になってください。

- 1. [æ] 2. [ə:] 3. [ʌ] 4. [θ] 5. [dʒ] 6. [ð]
- flag world young tooth enjoy with

確認問題 1 次の a) ~ f) のそれぞれの単語の下線部は 1 ~ 6 のどの発音をしますか？

- a) map b) thing c) this d) large e) come f) learn
- () () () () () ()